

報道資料

2025年2月12日

NHK広報局

AI自動翻訳機能による多言語字幕サービスの終了について

NHKの国際放送では、英語による24時間のテレビ放送を、インターネットでもライブストリーミング配信し、同時に、公式のウェブサイトやアプリ上で、AIの自動翻訳機能を使った多言語字幕がリアルタイムで表示されるサービスを提供してきました。この多言語字幕サービスは、グーグルのAI翻訳機能(グーグル翻訳API)を活用していることから、▼自動翻訳であること、▼翻訳は完全でない場合があること、を表示して提供していましたが、2月10日、英語で「the Senkaku Islands in Okinawa Prefecture」「Japan controls the Senkaku Islands」と伝えた音声が、中国語の字幕では、「冲縄县的尖閣诸島」と正確に翻訳したところがある一方で、「冲縄县的钓鱼岛」「日本控制着钓鱼岛」と表示されるケースが見つかりました。このため、同日付けでこの多言語字幕サービスを終了しました。

【サービスの概要について】

2020年4月～ 本格サービス開始(6言語・7種類)

インドネシア語、タイ語、中国語(簡体字・繁体字)、スペイン語、フランス語、ベトナム語

2021年5月～ ハングル、ポルトガル語の字幕付与開始(8言語・9種類に)

2022年3月～ ウクライナ語の字幕付与開始(9言語・10種類に)



インターネットのライブ配信中の多言語字幕のサービス例(ウクライナ語)

NHKが、関連団体を通じて、英語のテレビ放送の音声をもとに作成した英語字幕を、グーグルが提供するAI翻訳機能(グーグル翻訳API)を活用して9言語・10種類に自動で翻訳。利用者がウェブサイトやアプリ上で言語を選ぶと、英語の音声に合わせて、その言語の字幕が画面上にリアルタイムで表示される仕組みでした。